

平成29年度 支え合いのしくみづくりに向けた取り組み

主な事業

I 地域の茶の間をベースとした支え合いのしくみづくり

◆地域包括ケア推進モデルハウス

それぞれの特徴を生かした地域包括ケア推進モデルハウスの展開。

◆支え合いのしくみづくり会議の設置・推進員の配置

各区・日常生活圏域ごとに配置した支え合いのしくみづくり推進員を中心に。会議構成員と連携しながら、地域で不足するサービス・支援を創出する。

◆茶の間の学校

住民主体の支え合い・助け合い活動を担う人材を育成する。

◆空き家を活用した地域の茶の間への支援

II 介護保険新制度への移行

◆介護予防・日常生活支援総合事業

「訪問型・通所型サービス」

既存の専門職によるサービスに加え、人員基準等を緩和したサービスを新設し、担い手の拡大を図る。

◆地域力・市民力による活動の展開

⇒ 社会参加・介護予防につながる

「地域の茶の間の拡大」

地域の茶の間を通じて、支え合う地域づくりを推進する。

「住民主体の訪問型生活支援」

生活上の困りごとに対する住民主体の活動を支援する。

地域包括ケア推進モデルハウス



茶の間の学校

助け合いの
意識醸成

不足する
サービスの
創出

担い手の
育成

住民主体の
活動支援

支え合いのまちづくり

支え合いのしくみづくり推進員



住民主体の訪問型生活支援